

第4回平塚市社会教育委員会議 次第

令和3年7月27日(火) 午後3時
平塚市役所619会議室 司会：社会教育課長

1 議長あいさつ

2 議事

(1) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について

①書面総会について

②研修会について

日時：令和3年9月13日(月) 13:30～16:00

場所：神奈川県立総合教育センター 大講堂

(2) テーマ協議

(3) 今後の会議予定の確認

- ・第5回会議 令和3年10月26日(火) 15時から619会議室にて

3 その他

【事前配付資料】

1. 第3回会議で出されたコロナ禍での取り組み例
2. 県社教連研修会(案)

【当日配布資料】

- ・次第および会議資料(ホチキス止め)

令和2・3年度
平塚市社会教育委員会議

第4回定例会議

令和3年7月27日（火） 午後3時～

平塚市役所 619会議室

令和2・3年度 平塚市社会教育委員名簿

	氏名	分野	推薦母体	任期
1	まきの けんじ 牧野 賢治	学校教育関係者	平塚市立小学校長会 (相模小学校)	R2.6～
2	よしなり しんじ 吉成 伸司	学校教育関係者	平塚市立中学校長会 (横内中学校)	R2.6～
3	えみず ただひと 江水 是仁	学校教育関係者	東海大学	H30.6～
4	くりはら くにお 栗原 邦夫	社会教育関係者	平塚市自治会連絡協議会	R3.6～
5	まるしま たかお 丸島 隆雄	社会教育関係者	平塚市地域教育力ネットワーク協議会	R2.6～
6	はらだ みつゆき 原田 三行	社会教育関係者	平塚市公民館連絡協議会	H30.6～
7	わたなべ あやこ 渡邊 彩子	家庭教育関係者	平塚市PTA連絡協議会	R2.6～
8	きたざわ こういち 北澤 浩一	学識経験者	前花水公民館長 平塚市地域教育力ネットワーク協議会前会長	H28.6～
9	ふかわ ふみこ 府川 文子	学識経験者	元小学校長	H28.6～
10	おおわだ まいこ 大和田 マイ子	学識経験者	元公募委員	H30.6～

≪平塚市教育委員会≫

所属・職	氏名
教育長	吉野 雅裕
社会教育部長	平井 悟
社会教育部社会教育課長	鈴木 和幸
社会教育部中央公民館長	西山 聡之
社会教育部社会教育課課長代理	坂田 剛
社会教育部社会教育課主査	木村 圭太
社会教育部社会教育課主事	市川 貴美華

議事（２）テーマ協議

テーマ：コロナ禍におけるこれからの社会教育のあり方（仮）

前回の会議で出されたコロナ禍での取り組み例をまとめている。（事前送付資料参照）
取り組み例とともに次ページの意見照会結果を基に協議していきたい。

<メモ>

テーマ：コロナ禍におけるこれからの社会教育のあり方（仮）

【ICT】

課 題	今後の対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT環境の充実（Wifi 環境や機器の貸出等） ・ ネットを通じた危険性（ネット犯罪、いじめ、依存症等）、ネットでの肖像権や個人情報の問題など ・ 情報リテラシーの問題（情報弱者への対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館等でのスマホ講座などの充実 ・ 子どもや若者たちが高齢者に使い方を教えるような機会の創出 ・ ちいき情報局やSCN、ナパサ等を活用した情報発信の充実

【社会教育施設（公民館、図書館、美術館、博物館、体育施設等）】

課 題	今後の対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設臨時休館時における社会教育の停滞 ・ スポーツなどの体験型学習は、オンラインだけでは限界がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン学習の充実や図書や資料等の電子化、メタデータの利活用 ・ 学びを止めないために一律での休館ではなく、感染症対策を講じた上で利用できるよう検討する ・ 自分が活動している地域の良さを見つけられるような働きかけ（例：「市民みんなが学芸員」活動） ・ 社会教育施設の通信環境の充実 ・ 多様な情報発信手段の活用（SNS、ケーブルテレビ、FM局など） ・ オンラインと対面を併用したハイブリッドな学習の展開 ・ 学びを止めないために一律での休館ではなく、活動内容によっては感染症対策を講じた上で利用できるよう検討する

【人材、人づくり】

課 題	今後の対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動が停滞することで、人と人との結び付きが希薄化してしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での人材育成の事例を紹介する ・ 地域デビューできる組織づくり ・ 公民館事業などの企画会議の出席者を公募する ・ 小中学生に働きかけた事業企画（子ども達の地域参加促進） ・ オンラインを活用した遠隔地の人達や物理的に社会教育活動に加われなかった人達との交流や人材育成 ・ オンライン以外で交流できる方法の模索

【その他】

課 題	今後の対応策
	<ul style="list-style-type: none"> ・ (新たなパンデミックなどに備え) コロナ禍における対応を、行政・教育機関、各種団体等で整理して記録しておく

令和3年度平塚市社会教育委員 会議等予定表

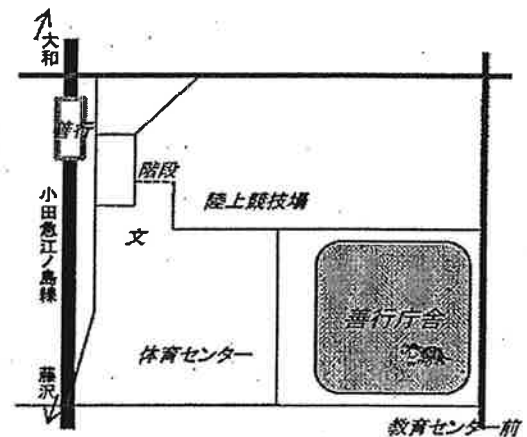
日時	会議名	会場	対象
4月16日(金)	県社教 理事会①	かながわ県民センター	県理事
6月1日(火)	定例会議③	平塚市役所(619会議室)	全員
6月上旬	県社教 総会(書面開催)	第4回会議で 回答票を回収	
7月27日(火)	定例会議④	平塚市役所(619会議室)	全員
9月13日(月)	県社教 研修会	第4回会議で 意向調査	総合教育センター
10月25日(月)	県社教 理事会②	総合教育センター	県理事
10月26日(火)	定例会議⑤	平塚市役所(619会議室)	全員
11月11日(木) ～ 11月12日(金)	関東甲信越静社会教育研究大会	東京都府中市	希望者
1月20日(木)	県社教 地区研究会(横須賀市)	横須賀文化会館	県理事および 希望者
1月25日(火)	定例会議⑥	平塚市役所(619会議室)	全員
2月14日(月)	県社教 地区研究会(秦野町)	クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野文化会館)	県理事および 希望者
3月14日(月)	県社教 理事会③	総合教育センター	県理事

その他として、令和4年2月に教育委員との懇談会を予定

令和3年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会（案）

- 1 趣 旨 県内各地の社会教育委員をはじめ、社会教育関係職員が一堂に会し、研修をとおして各地域における社会教育活動の状況や研究の成果について確認するとともに、生涯学習社会の観点にたつて、社会教育のあり方や今日的な課題解決と資質の向上を図る。
- 2 主 催 神奈川県社会教育委員連絡協議会 -案内図（善行駅西口より徒歩12分）-
- 3 テーマ 「社会教育の新たな役割」
- 4 日 時 令和3年9月13日（月）13:30～16:00
（受付13:00～）
- 5 会 場 神奈川県立総合教育センター 大講堂
藤沢市善行7-1-1
定員200名
【座席数：606席】
- 6 参加者 各市町村社会教育委員及び関係職員
- 7 内 容

13:30～13:40	開会	あいさつ
13:40～14:00	葉山町の発表	
14:05～14:25	山北町の発表	
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:55	講演	「社会教育の新たな役割～社会の大きな変化の中で～」 講師 明治学院大学社会学部社会学科教授 坂口 緑 氏
16:00	閉会	
- 8 お 願 い
 - ・御出席の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクの着用をお願いします。また、御自身での健康状態の確認と検温を済ませ、発熱・息苦しさ等の症状のある方は、参加を控えていただきますようお願いいたします。
 - ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方、感染もしくは感染の疑いのある方が身近にいる方は、参加を控えていただくようお願いいたします。



第3回会議で出されたコロナ禍での取り組み例

- まちぐるみ大清掃を少人数で実施した。地域と子ども達が交流できる良い機会になっている。手指消毒やマスクの着用、密にならないように実施すれば、安全に実施できた。
- 学校では、地域の方たちとの交流として、「相模歴史ウォーク」を実施。食事は一緒には摂らず、屋外、少人数で実施した。
- 公民館では、シニア学級を少人数に分散し、回数を増やして実施している。
- 東海大学では、コロナ検定を実施し、検定にパスした人が入構できるといった取り組みを行っている。
- 中学生が高齢者のワクチン接種予約のボランティアをしている事例がある。（他市での取り組み）
- 高齢者向けのパソコンやスマホ講座の実施
- 個食や黙食となっている給食時に絵本や紙芝居の読み聞かせのボランティア活動